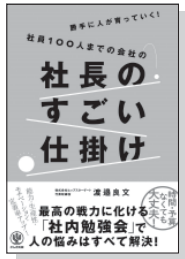


あしがきのあしがき ~著者から人事担当者へのメッセージ

『勝手に人が育っていく! 社員100人までの会社の社長のすごい仕掛け』



株式会社ヒップスターゲート
代表取締役 渡邊 良文



2020年5月刊
発行: かんき出版
販売: 1,650円

主な内容

- 採用に頭を悩ませる時代から育成に力を入れる時代へ
- なぜ「社内勉強会」が最強の人材育成の場になるのか?
- Whyを明文化し、勉強会チームを編成する
- テーマを決め、コンテンツを用意する
- 身につけておきたいファシリテーション・テクニック
- 社内勉強会を自社のカルチャーに育てあげる
- 学びを促進する工夫

バブル経済の崩壊、リーマンショック、東日本大震災、さらに直近のコロナショックなど、こうした予期せぬ出来事に多くの企業が翻弄され、時には存続すら危ぶまれることがあります。

しかし、先の見通しが難しい時代においても、企業は労働生産性を追求しなくてはならず、特に中小企業の経営者や人事・教育担当者からは、そのための社員の能力開発や定着率の向上など、“人”に関する相談を多く受けます。

そこで、ぜひお勧めしたいのが、「社内勉強会」の実践です。

いいこと尽くしの「勉強会」だが

社内勉強会は、それほどの予算や時間をかけずに、社員の積極性を引き出しながら、能力・スキルの向上を図ることができます。また、会社側の関与を必要とせずに、

学びのシステムが自走してくれるので、運営の手間暇もかかりません。

いいこと尽くしの「社内勉強会」ですが、誰かがきっかけをつくらなければ動き出しません。そこで、経営者や人事・教育担当者が社内勉強会の旗振り役となって、「社員が勝手に育っていく社内勉強会」を定着させるノウハウ・テクニックを書き下ろしました。

○コストをかけず

○運営や実施にも手間をかけず

○社員が勝手に育っていく!

この仕組みこそが「社内勉強会」です。

その効果は、業績向上からリクルーティングまで多岐にわたります。本書では「社内勉強会」を実施している企業の好事例を3ケース紹介しておりますので、「社内勉強会はこういう仕組みなのだ」

ということが具体的にご理解いただけるものと思います。

やらされ感のない仕組み

「社内勉強会」の仕組みが社内に浸透したことで成果を上げている企業が、日本中に広がりつつありますが、それは「社内勉強会」に多くのメリットがあるからです。その1つに、“能動的に学べる”仕組みを挙げることができます。「社内勉強会」は、社員自身が必要と思ったテーマを取り上げて学習し、そのテーマに興味・関心をもったメンバーが有志参加する仕組みなので、そこに「やらされている感」はありません。

本書には、「社内勉強会」を軌道に乗せる方法論をステップ毎に記載しました。予期せぬ出来事がいつまたやってくるか分かりませんし、何よりコストも手間もかかりませんので、思い立ったらすぐに「社内勉強会」を始めてみてください。

「社員が勝手に育っていく社内勉強会」を定着させ、1社でも多くの中小企業が厳しい時代を勝ち抜いていければ、筆者としてこの上ない喜びです。